



International Language

「ほほ笑むよりしかめっ面は顔が疲れる」という表現を聞いたことがありますか？これを聞いただけでも一日ニコニコできそうです。でも私が笑顔が大切だと思う理由は他にあります。特に外国人に対しては...

笑顔があれば前向きな気持ちを伝えられます。これはどんな言葉の壁も乗り越えられるコミュニケーションの手段です。どうしてこんなことをお話するのかと言うと、例えばもしあなたが外国人だったら、と想像してみてください。そしてものすごい田舎にいるとしましょう。そこではあなただけが見た目も言葉も違う。ちょっとこわいと思いませんか？日本にいる外国人にとってはこんな感じです。

私たち外国人はとても目立つので、外出すると帰宅する頃には頭痛がしている、ということもあります。私の場合は運良く少しは溶け込めますが、それでもかなりじろじろみられます。カナダの場合、いろんな人種がいてみんなそれぞれ違うのでじっと見られるということとはほとんどありません。

じろじろ見られたらとても居心地が悪く挑戦的な感じすら受けます。じろじろ見る人の考えていることはわかる気がします。「このガイジン、どこから来たのだろう？」でしょ？

もしかしたら「こんにちは」って声をかける勇気を振り絞っているところかもしれません。でも、そんな風に思っていたとしても、にらむだけでは伝わりませんね。笑顔ならきっと笑顔が返ってきます。ガイジンに対してだけではなく誰にでも笑顔はあなたの前向きな気持ちを伝える絶対確実な方法です。



宮地晶子の叫び

Have you ever heard the expression that it takes more muscles to frown than it does to smile? This expression alone should be enough to keep a smile on your face throughout the day. However, I have a different reason as to why you should smile... especially at foreigners.

With a smile you can transmit positive feelings and thoughts. It's a way of communication that breaks through any language barrier. So, why am I telling you this? Well, if you will, try and imagine yourself in the shoes of a foreigner. Or, imagine yourself completely alone in a far off country, where everyone looks different and speaks a different language.

A little scary isn't it? That's the way it is for us foreigners in Japan. A lot of us stick out like sore thumbs and sometimes after an outing in public, you can come home with a headache. I'm fortunate enough to blend in to some extent, but I've also had my share of being stared at! Back home, where everyone is different, you hardly ever get stared at. When it does happen it is very uncomfortable and often confrontational.

I have an idea of what may be going on in the heads of those who stare. They're probably just wondering where that foreigner is from... right?? Or, maybe they're just trying to work up the courage to say hi... However, one can't transmit those thoughts by glaring! Throw in a smile and I bet that you'll receive one in return. Remember, this not only for foreigners, but for anyone! It's a surefire way to communicate your positive thoughts!

英語学習指導員 宮地晶子の

エイゴのマナビカタ

第5回

楽しく英語

楽しんでお金もかけず、気づかないうちに子どもに英語を染み込ませる。みなさんも私と一緒に英語の種をまいてみませんか？

今年のフォトフェスタ海外受賞作家のアントワニス・ダガタさんはフランス人でした。私は通訳を任されたのですが、関係者のみんなが口をそろえて「フランス人は英語を話さないでしょう？」と心配してくれました。

でも、全然問題なく英語で会話が出来ました。ダガタさんは3人のお嬢さんにもできるだけ英語に接する機会を作っているそうです。英語の必要性を痛感されているのでしょうか？

私には小学2年生と年長組の子もがいます。よく、家でも英語を教えているの？」と尋ねられます。キャンモアから来た人達にもそう聞かれました。

「なんたることか！」と言われ

そうですが、みなさんには学びましよう言いながら、実は我が子に対してはほとんど教えることはしてません。でも、英語と全く接点がないというわけでもないのです。

みなさんはスカイパーフェクトTVという放送をご存じですか？チューナーとアンテナを購入すればありとあらゆる番組を自宅で視聴できます。その中に24時間英会話番組を放送しているチャンネルがあります。

番組は日本だけでなくイギリス、アメリカ、オーストラリアなど様々な国で作られています。幼児から英語力のある人まで楽しめる番組がたくさんあります。

たまにしか見せないのですが英語だけの番組なのに抵抗なく楽しく見えています。乳幼児のとき暮らしていた国の言葉はあとで習得するのがとても楽だと言います。独特の音やリズムが脳に残るのでしょうか。オランダやドイツなど英語をとてよく話す国でも幼児から英語のテレビをみせているといえます。ただ我が家の場合、無理強いはず30分以上見せることもありません。口真似させたりも無しです。無理にやらせて嫌いになってしまったらもったいないですからね。